


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和4年11月11日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第6号	質問議員	11番	堀口恵一	
件名	1. 人生100年時代に対応したまちづくりを 2. Jアラート発令時の地下シェルター検討を				
要 旨					
<p>1. 昨今、医療技術の進歩や栄養事情の改善により健康寿命も延びており、人生100年時代と言われている。厚生労働省の生活習慣病予防のための健康情報サイトでは、健康寿命延伸のための提言を行っている。提言では、自身の健康については「国民一人一人の目標」を、「健康の社会的決定要因」では「公衆衛生目標」を掲げて、「個々の不健康の根本原因となっている社会的決定要因にも目を向け、社会として解決に取り組む」となっている。これに対応したまちづくりをしていくべきと思ひ質問する。</p> <p>①人生100年時代に対応する町の考えは。</p> <p>②高齢者のコミュニティはデジタル化を含めどうあるべきと考えているか。</p> <p>③散歩、ウォーキング、サイクリングなど、交通インフラ利用者が増えているが、対応が不十分と思うがどう考えているか。</p> <p>2. 令和4年10月8日に北朝鮮のミサイルが日本上空を通過した。その他にも何度も日本海に向けミサイルが発射されている。スピードはマッハ6とか7である。既に日本の迎撃ミサイルでは対処できず、強力なレーザー砲でも開発しない限り防御不可能な状況である。政府では防衛費を増強する方向に動いているが、地下シェルターの話も上がっている。</p> <p>ここで町でも地下シェルターについて真剣に考えるべきではないかと思ひ質問する。</p>					

① 過去には、丸山や日向地区などに防空壕が掘られており、避難に用いられていた。丸山の地下、新東名の工事用トンネルについては令和3年3月定例会一般質問（大規模化災害に対応したまちづくりを）にて富士山噴火の対処として提案したが、ミサイル対処としても有効と思われるので検討してはどうか。また、備蓄倉庫や役場通信機能の一部、コンピューターのバックアップ機能、見学コースを置くなどして行き来し、フェーズフリーな使い方をすれば日常にも役に立つと思うがどうか。

以上